

令和7年度 菊間地区学校適正配置地元代表協議会
—中間まとめ—

会議日	協議事項	意見や質問	質問の回答等
令和7年 10月29日 (第1回)	(1) 会議の運営方法について (2) 今後の会議の進め方について (3) 統合検討対象校の現状について (4) 意見交換	① 亀岡小学校から菊間小学校までの距離（キロ単位）の資料を提示してほしい。	① 第2回で資料提示
令和7年 12月12日 (第2回)	(1) 前回求められた資料について (2) 学校小規模化による教育上の課題について (3) 学校統合による地域への影響について ・避難所、地域コミュニティ活動の場としての機能 (4) 意見交換	<p>【統合の是非について】</p> <p>② 複式学級では学級づくりや学力把握に苦勞する一方、少人数と地域協力を活かし、田植えや乗馬など体験活動を全学年で充実できる。</p> <p>③ 少人数学級では、人間関係において距離を取ることが難しい。</p> <p>④ もう少し人数が多ければクラブ活動で同じ子が多くの種目に出るような負担をなくすことができ、遊びや勉強の幅も広がると思う。</p> <p>⑤ 小学校が一つに統合されることで、9年間人間関係が変わらない（多様性の欠如）のは子供にとって負担。一方で、複式学級は授業運営や学力保障の困難さから解消されるべき。</p> <p>【統合後も地域とのつながりを維持したい】</p> <p>⑥ 学校があるからこそできる地域の事業がある。統合場所によっては、亀岡コミュニティ推進会を解散するかどうかの議論も出ると思う。</p> <p>⑦ 廃校となる校舎を地域の拠点として活用してほしい。</p> <p>⑧ 保育所の統合では、両地域保育所で行っていたイベントを大切に、地域との関わりを継続する方針である。</p> <p>【学校の災害対策について】</p> <p>⑨ 菊間小学校では災害を想定してどのような訓練をしているか？</p>	<p>① 菊間小学校長の回答</p> <p>南海トラフ地震を想定した訓練を菊間保育所と合同で行っている。橋の倒壊や川の氾濫を想定し、垂直避難する訓練をしている。その他、火災</p>

		<p>【長期的な少子化対策を】</p> <p>⑩ 5、6年後、少子化はもっと進んでいるが、学級編成についてどう考えているか？子どもを増やす施策はあるのか？</p> <p>⑪ 地域をより細分化して人数を示した資料が欲しい。</p> <p>⑫ 人数を示す資料には男女比を追記して欲しい。</p> <p>⑬ 中学校統合も並行して検討し長期的な人数減少や保護者の不安に対応するべき。</p>	<p>や不審者対応の訓練も他校と同様に行っている。</p> <p>⑩ 陸地部では旧町村を越えない統合を基本方針とし、菊間町内に学校が存続できるよう町の運営も含め検討していく。地域と連携した特色ある学校づくりで人を呼びこむ施策を検討している。</p> <p>⑪⑫ 第3回で提示した。</p> <p>⑬ 今回の基本方針では小学校を統合対象としている。</p>
令和8年 2月13日 (第3回)	<p>(1) 望ましい学校のあり方について</p> <p>(2) 意見交換 ・グループ討議</p> <p>(3) 中間まとめ (次年度への引継ぎ)</p>	<p>【統合の是非について】</p> <p>⑭ 統合へ前向きな検討をすることで委員の意見は一致した。</p> <p>【PTA説明会とアンケートについて】</p> <p>⑮ 現時点でアンケートを取っても自分の地域を望む意見しか出ない。菊間・亀岡両地区の特色、具体的なメリットデメリットを勘案し、判断材料となるものを提示して欲しい。</p> <p>【意見交換】</p> <p>⑯ 廃校となる校舎を地域の拠点として活用してほしい。</p> <p>⑰ （空き校舎の活用事例紹介） 松山市立清水小学校では校舎の一部を高年齢者の交流施設として活用している。</p> <p>⑱ 両小学校を保護者が見学に行く機会を設けるのはどうか。</p> <p>⑲ 校舎や運動場の環境整備、安全管理のあり方についても地域とともに考えたい。</p> <p>⑳ 新潟県粟島の学校のように、馬がいる学校という魅力づくりをするのはどうか。</p> <p>㉑ ㉒に関連して、菊間小学校の場所を使って子供馬による地域おこしができないか。</p>	<p>⑯ 事務局から、空き校舎の活用事例（美須賀小学校跡など）を紹介し、現時点で確定はできないが、地域の拠点という使い方も模索できると回答した。</p>